

援助の議題の中心に市民参加を

第四回援助効果向上に関する ハイレベル・フォーラムに向けた ワールド・ビジョンの政策提言



World Vision

この子を救う。未来を救う。

主要メッセージ

- 援助効果向上のためには市民とコミュニティの参加が重要である、とワールド・ビジョンは考えます。
- 市民が関わることにより、「援助効果におけるパリ宣言」の原則にあるオーナーシップと相互説明責任が、大幅に前進できます。
- ワールド・ビジョンは、世界の政策決定者に以下 2 点を求めます。
 1. 相互説明責任を向上するため、開発イニシアティブの計画や実施、モニタリング、評価のプロセスに市民を含める。
 2. 市民による調査を可能にするため、すべての開発関係者が援助の流れに高い透明性を持たせる。市民が援助の配分の情報を入手できるようにする。

背景

2011 年 11 月 29 日～12 月 1 日に韓国の釜山で開催される第四回援助効果向上に関するハイレベル・フォーラム (HLF4) に、政府やパートナー国、企業、国際機関、市民組織の代表者が集まります。

2005 年のパリと 2008 年のアクラでは、援助効果を向上し、実施することが約束されました。しかし、進捗、特にドナー側の進捗、は不均一です。第四回援助効果向上に関するハイレベル・フォーラムは、政府がこれまで達成した成果を概括し、活気づけることで、急速に変化している環境において、いかに課題を解決するかを問いただく機会です。

ワールド・ビジョンにとって効果的な援助は、世界で最も貧しく弱い立場にある子どもたちやコミュニティの人々が健やかな生活を送るために重要です。

援助が供与の対象である受益者、資源の欠しい国の市民の参加は、効果的な援助を実施するために必須です。説明責任の連鎖において市民が一端を担って初めて、援助資金が効果を発揮し、長期的な影響と持続可能な成果を生み出します。

地域レベルでの説明責任、そして最終的に援助やその他の財政的資源の効果を向上するために、国家レベルで市民の声をさらに反映することを、ワールド・ビジョンはアクラで訴えました。アクラ行動計画では多くの関係者を巻き込むパートナーシップに大きな焦点が当てられましたが、援助予算やプログラムの実施とモニタリングにおいて市民が果たすべき役割は未だに見出されていません。

第四回援助効果向上に関するハイレベル・フォーラムは、国際コミュニティにとって、援助効果の議題を発展させ、それを実施計画や進捗評価のためのメカニズムとして結実させるのに必要な政治的コミットメントを引き出すための機会となるでしょう。

釜山において、世界の政策決定者が以下のような行動を起こすことを、ワールド・ビジョンは求めます。

1. 相互説明責任を向上するため、開発イニシアティブの計画や実施、モニタリング、評価のプロセスに市民を含める。

「援助効果に関するパリ宣言」の1つ目の原則は、オーナーシップです。この原則が最大限の影響力を発揮するためには、政府や地方の権力者だけでなく、議会や市民組織、地域のコミュニティの代表者が参加する必要がある、とワールド・ビジョンは考えます。非常に多くの国々において、コミュニティが効果的に参加できる環境が整っていません。ワールド・ビジョンの地域レベルでの参加を促す手法を用いた経験によると、市民やコミュニティが政策策定に参加すれば、持続的な開発の成果を生み出すことが明らかになっています。

援助が供与されるべきところに供与されるため(資金の面でも、最も弱い立場にある人に届く、という意味でも)、また、援助の供与の質を向上し回復力のあるコミュニティを築くため、そして、長期的な持続可能性を促進するために、課題や成果のフィードバックのプロセスに市民が参加することは、説明責任の連鎖において極めて重要です。

ザンビアの教育と保健予算に、子どもたちが影響を与えました

子どもへの支援を行う団体として、ワールド・ビジョンは、援助が子どもたちのニーズを満たすために、子どもたち自身の参加がいかに大切かを知っています。ワールド・ビジョンが実施している弱い立場にある子どもたちのためのアドボカシー(Vulnerable Child Advocacy)の目的は、弱い立場にある子どもたちに質の高いサービスが提供されることに政府が責任を持つように、政策や行動に影響を与えることです。政策へ影響を与えるためには、政策策定とレビュー及び、コミュニティや国家レベルでの政策の実施プロセスが伴います。

このアプローチの一例は、ザンビアの財務国家計画省が2009年の予算提案書を要請した際に見られました。ワールド・ビジョン・ザンビアは、他のNGOとともに、子どもの予算ネットワーク(Child Budget Network: 以下CBN)というゆるやかなネットワークの一員です。このネットワークは、過去の予算が、アフリカ連合の公約(教育予算を全体予算の20パーセント、保健予算を全体予算の15パーセントとすること)に達していないことに、注目していました。国家予算の効果的で効率的な配分と使用について、ザンビアの子どもたち、その中でも特に弱い立場にいる親を亡くした子どもたちの権利が保護されるために、CBNは働きかけました。健全な予算というのは、その国の子どもたちの権利を守ることに努めるものだ、とCBNは考えます。子どもたちは本質的に脆弱であるという理由から、子どもたちのために適切な予算が充てられる必要があります。特に社会保護の分野において、ザンビアの子どもたちのニーズを実証するために、CBNはコミュニティでの協議の場を数多く持ちました。ザンビア政府が2009年の国家予算において、教育への拠出を15.4パーセントから17.2パーセントに、保健予算も小額ながら増額したことの、少なくとも一つの要因は、こうした活動の成果でした。

相互説明責任 - ドナー国と開発途上国が、達成する成果について、互いの議会と市民に対して相互責任を持つことが、パリ宣言の1つの原則です。そして、モニタリングシステムは、どのような説明責任のプロセスにおいても重要な役割を果たします。パリ・モニタリング調査(Paris Monitoring Survey)による予備調査の結果によると、相互説明責任は、援助効果のすべての原則の中で最も進捗が遅れています。

第四回援助効果向上に関するハイレベル・フォーラム(HLF4)に向けて、ワールド・ビジョンは、政府に以下を提案します。

- 国会議員や地域の市民組織を含め、開発に関わるすべての代表者を含んだ国家レベルでの説明責任のメカニ

ズムと枠組みの設立を約束する。この枠組みは、地域コミュニティからの参加を得て、証拠を吸い上げるべきである。

2. 市民による調査を可能にするため、すべての開発関係者が援助の流れに高い透明性を持たせる。

相互説明責任及び国の説明責任向上のために、援助と国家の資源の使用についての透明性や情報への入手に対する約束は重要です。しかし、援助の流れに関してのタイムリーで透明性のある情報の提供に対する懸念は高まっています。情報が入手、そして理解しやすい方法(地域の言語、ラジオを含めたメディア、識字レベルの考慮)でコミュニティに届けられるかを、ワールド・ビジョンは特に懸念しています。そして、質問や異議の申し立てができるメカニズムがあるべきです。

ワールド・ビジョンは、以下 2 点を提案します。

- 第四回援助効果向上に関するハイレベル・フォーラム(HLF4)に参加する政府が、透明性を成果文書の原則の 1 つとする。これについて国際的に合意されるよう、新興国のドナーに働きかける。
- すべての政府が、援助の透明性を高めるイニシアティブ(International Aid Transparency Initiative:IATI)に署名し、援助予算に関する情報をドナー国と受益国、両方の市民が入手できるようにする。

政府、多国間組織、ワールド・ビジョン・インターナショナル総裁を含む市民組織、企業から成る 30 名の「女性と子どもの健康のための情報と説明責任委員会」(UN Commission on Information and Accountability for Women's and Children's Health)¹は、10 の提案を行いました。この提案のすべてが実施されれば、約束された資源の拠出状況と、ミレニアム開発目標(MDGs)4 と 5 の達成のために期待される成果を追跡し、2015 年までに何百万人も女性と子どもの命を救うことができます。委員会の最終報告書の中には、説明責任のプロセスにおける市民参加の重要性が以下のように記載されています。

「説明責任が本来属すべきところ、つまり、政府や議会、コミュニティ、市民社会の積極的な参加を得た上で、国家レベルに置かれる枠組みを提案します²。約束、資金、達成された成果に関する情報のより高い透明性についてのすべての関係者による公約は、委員会の 10 の提案の中の 1 つです。MDGs を達成できる速度で、説明責任と保健分野の状況追跡を可能にする国家システムを強化するため、ドナー国により献身的な技術的かつ財政的資源が約束される必要があります。

「女性と子どもの健康のための世界戦略」の発展に、ワールド・ビジョンは密接に関与し、その成果でもある「女性と子どもの健康のための情報と説明責任委員会」に参加して、これらのプロセスに市民が参加し、透明性が確保されるよう働きかけてきました。今後、ワールド・ビジョンは、国家の説明責任のメカニズムを強化して「透明性があり」「すべての関係者を巻き込む」ものにする、という内容を含む委員会の提案が実施されるように、集中していきます。説明責任のメカニズムに市民を含めることを確保し、国家から地方レベルへの情報の透明性にふさわしいフィードバックの循環を求め、地方からのフィードバックが国家レベルに届き、地方のデータが国家レベルで使われるように働きかけていきます。

¹ 2010 年 9 月、国連事務総長によって発表された「女性と子どもの健康のための世界戦略」のために拠出が約束された 400 億 US ドルについて、世界的な報告、監視、そして説明責任の枠組み策定することを目的に、2011 年に設立された時限の委員会。10 人の委員会メンバーには、ワールド・ビジョン・インターナショナルの総裁も含まれている。

² Final report Commission on Information and Accountability for Women's and Children's Health
http://everywomeneverychild.org/userfiles/Final_EN_Web.pdf